

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		3		作成日		30年 6月 29日			
事務事業名		土地改良事業						シート作成部署					
総合計画上の位置付け	基本施策	5 賑わうまち						課名	産業課	係名	土地改良係		
		5-1 働きがいのあるまちをつくる□									シート作成者		
	施策	5-1-1 農業の振興□						予算費目	会計	一般			
		① 農業生産基盤の充実								款	6		
主要施策							項		1				
									目	4			
個別計画名		農業農村整備事業管理計画											
住民との関わり		その他											
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）								
	土地改良区、農業者				主に農業用水利施設の維持管理、更新等を適切に実施することにより、将来に渡り安定して農業の振興を図ります。								
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		農業用施設維持管理事務・・・施設を計画的に維持及び補修、更新することにより、将来に渡り必要とする改修等の費用の平準化を図ります。											
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度		～		平成 年度		（ 年間）		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
根拠法令・要綱等													
		平成28年度（決算）			平成29年度（決算）			平成30年度（予算）					
全体事業費（千円）A+B		0			45,855			16,804					
財源内訳	国庫支出金					0			0				
	県支出金					0			0				
	地方債					13,300			2,000				
	その他特定財源					122			116				
	一般財源					32,433			10,398				
直接事業費（千円）A		0			45,855			12,514					
人件費（千円）B		0			0			4,290					
内訳	一般職員（人・千円）		人		0		人		0		0.65 人		4,290
	臨時職員（人・千円）		人		0		人		0		人		0
成果指標	成果指標名				単位		29年度		30年度		31年度		
							目標		実績		（目標）		
	①												
	②												
③													
説明		保安全管理にかかる費用や負担金が主であるため、指標の設定は困難です。											

事業名		土地改良事業		シート作成課		産業課		
一次評価者		産業課長		二次評価者		建設部長		
評価項目の説明	チェック項目			一次	二次	一次の評価又は説明		
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	将来に渡り安定して農業の振興を図るため、農業用水利施設の維持管理、更新等を適切に実施する必要があります。	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施設を計画的に維持及び補修、更新することにより、将来に渡り必要とする改修等の費用の平準化が図られます。	
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施設の老朽化に伴い、更新が必要な施設は多いが、長寿命化を図るため計画的に取り組んでいます。	
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	農地の転用等により、緩やかに受益面積が減少しているが、農業用施設の維持管理にかかる経費は下がらないため、受益者の負担が増加する懸念があります。	
	本事務事業の実施適切性の説明							
	国の補助メニューを活用し、県や土地改良区、周辺自治体と連携しながら適正化事業やストックマネジメント事業を実施し農業用施設の適切な管理に努めます。							
一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	B	A	
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	D	C	
今後の改革・改善目標	農業用施設の更新については費用が高額になるため、計画的に事業が採択され、長寿命化を図る必要があります。							
二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	B	A	
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	D	C	
コメント	機能保全を中心とした施設の維持管理をはじめ、改修計画など土地改良区等と連携を図り効率よく進める。							
二次評価に対する課の考え方								
参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1 現在の手段を継続する				